

愛生福祉会だより

2011年  
夏号

# ふれあい



デイサービスセンター 筒井  
小川 和美 様  
(おがわ かずみ)



はぎのデイサービスセンター  
安田 勉 様  
(やすだ つとむ)



はぎのデイサービスセンター  
奥村 巴 様  
(おくむら ともえ)

## もくじ

- 表紙  
七夕
- 東日本大震災復興支援……………P2・3
- 働くお母さん/  
託児所の一日の流れ/  
「ヘルパーステーションあい」開設…P4・5
- 愛生福祉会合同作品展……………P6
- 介護教室……………P7
- 施設発信ニュースリーダー……………P8・9
- 看護学会でポスター発表/  
ふれあい随想リレー……………P10
- 接遇研修/トピックス……………P11
- 人財開発プロジェクト……………P12

# 東日本大震災 復興支援

## 介護ボランティア 愛生福祉会より三名派遣

仙台市老協から名古屋市老協に介護ボランティアの派遣について要請があり、それに応えるべく、五月八日～二十日までの期間当法人からも三名の介護職員のボランティアを派遣しました。そこで三人は施設の職員の補助として、入居していらっしゃる方や避難されている方のお世話をさせていただきます。

三名はそれぞれ分かれ、毎日十時～十九時の勤務で現場の職員とともに介護業務全般（排泄介助・食事介助・入浴介助等）のお手伝いをさせていただきました。

### 特別養護老人ホームパルシア

平成十年開設

パルシアとはギリシャ語で、神の到来・神が居合わせるという意味。カトリック系の社会福祉法人の施設で、入所五十人、ショートステイ二十人定員。階は三ユニットに分かれていて、ユニットは十六～十八人、職員は七人体制です。二階は在宅サービスのデイサービス、ショートステイ二十名のフロアでした。その他に配食サービスや居室介護支援事業所、地域包括支援センターも行っていきます。パルシアの建物自体は大きな被害はなく、無事だったそうです。

被災してパルシアに避難されている方は施設全体で十名ほど、四人部屋で詰めて五人入って頂き、過ごしていただきました。勤務している職員の中には身内が被災されている方もあり、職員の疲労緩和のために介護ボランティアを申請されたそうです。



補強工事中の地域交流ホール



ユニットのリビング



愛生苑  
中村 徳寿さん  
(介護副主任)

自分にも何かできることはないかと思っていました。そんな時に介護ボランティアの話の頂きぜひ参加したいと行かせていただきました。特別養護老人ホームパルシアは、職員や利用者の方々にも被害はなかったのですが、折腹施設長からうかがった話によると、今回の震災で大きな被害は受けていませんが、職員の方も普段の業務に加え、余震が続くことで精神的に疲れが出てきており、今回のボランティアの派遣を要請したそうです。三月十一日、四月七日と大きな地震があり、今もなお続く余震にスタッフの方などは震度一でも夜中に起きたり、状況を確認し施設に駆けつけたりはなくてはいけないという気持ちの中で、笑顔で普通の生活をご利用の方々を過ごしていただくために一生懸命がんばっていることを知りました。今後もまだまだ余震が続くといわれていることに対し、「ほんとにもう地震はこなくていいです。」という職員の言葉、表情は安心した日々が続いていないこと、日々少なからず緊張感があることだと思えました。利用者の方の中には、実際に津波により家が流された方や、崩れてしまった方、病院に入院で助かった方などもおられました。利用者の方は、テレビや新聞で毎日の震災の状況を知る環境があり、当時の状況を思い出したり悲しんだりされる中でコミュニケーションは、言葉や会話も選んだりすることがとても大変でした。仕事以外でも何か皆さんにできることはないかと考え、今後このようなことがないようにとの願いを込め、三人で毎日少しずつ千羽鶴を折り渡しました。パルシアの方々にも大変喜んでいただきました。普段から利用者の方々の生活について、今できることを行い、要望にお応えできるようにと思っておりますが、今回の被災地ボランティアでその大切さを実感しました。たくさんの方々との出会いもあり今回はこのような貴重な体験をさせていただきました。



千羽鶴をお渡しする中村さん

仙台駅から車で約二十分のところに、「特別養護老人ホームパルシア」がありました。ホールの天井が吊り天井になっており「震災で天井が落ちそうになっているので近づかないで下さい」との注意を受けました。外観は全く普通の建物に見えますが、目に見えない箇所においては被害を受けている様子でした。到着した翌日から各々配属のユニットに入りボランティア活動が始まりました。私の配属のユニットは主に身体介助を必要とする十八名の方が生活していました。当初は私自身を受け入れてくれるのか不安な気持ちで一杯になりましたが、お年寄りの笑顔や穏やかな表情をみて安堵しました。認知症をお持ちなのか震災について覚えてみえる方は少なかったです。パルシアでは三月十一日の震災時はホールに集まり慰霊祭を行っていた最中だったそうです。震度六強の地震が三分間にわたり揺れ続けたとのこと。ホールに設置してある自動販売機もかなり移動した程の揺れだったそうです。皆さんがホールに集まっていたおかげで、人員確認等はスムーズに行えたとのことでした。その日から三日間施設の電気が止まり、水は六日後、ガスは十八日後の復旧でした。職員はほとんどが五日間泊まりこみで働き、中には身内の安否確認も取れず働いた方もみえました。雪が降る日もあり、施設内でダウンジャケットを着用し業務にあたっていました。食事は一日二食となっていました。五日後に救援物資が届きましたが、三食摂取できる状態になったのは四月四日でした。やはりお年寄りの方は体重が減少してしまおう方が多く、現在でも元に戻っていない方もみえました。

パルシアの上の方と少しお話をさせて頂く機会がありました。その時に伺った話が、「職員はとても疲れていて、精神的なショックも大きい」とのことでした。関わっている時にはそのような一面は全く見せずに接してくれていました。本当は「とても大変な思いをされ、疲れているのに、笑顔で明るく接する職員の皆様の強さ」を感じ取れました。また、職員同士みんな協力しあい、支え合っている業務にあたり「つらかった」と思っていました。人と人との絆の強さを学ばせていただいたと思っております。現在、私達は当たり前のように三食のご飯を食べ、お風呂に入り、布団で寝ています。電気やガス、水も当たり前に使える生活をおくっています。ですが、今回の震災により、この生活が当たり前ではないということを学びました。今は、とても恵まれた生活を送っているのです。これを当たり前だと思わないで、一つ一つのことに感謝をしなければなりません。震災は、できることならば誰もが経験したくないことです。今回の震災から、多くのことを学び、決して忘れることなく、少しでも力になれるよう、これからも頑張ります。



庄内の里  
木村 正敏さん  
(介護職員)

今回の震災をニュースで見、被害の大きさを心で痛めていました。

買い物のついでに僅かな募金をすること位しか出来ていなかった中、愛生福祉会から数名のボランティアを被災地の介護施設に派遣するという話を聞き、立候補させて頂きました。他にも多くの立候補者がいた中で、施設長より「気力も体力も十分にあつて、介護の経験年数も長いから君に頼みたい」と声をかけて頂き、決意を新たに致しました。派遣先の施設の入居者様や職員の方々の中には、幸いな事に地震により死傷された方はいらっしゃいませんでしたが、震災直後の寒さもあり、ライフラインが途絶えた中で介護する側も、される側も大変だと思えます。我々がボランティアに行つたのは四月七日の大きな余震から約一ヶ月後、施設自体には大きな被害もありませんでしたが、未だに余震も続く中、一生懸命に入居者様のお世話をされている職員の方々に対し、非常に感銘を受けました。約二週間という短い期間の中で、私が本当に役に立てたのかは分かりませんが、最後の日には「本当に助かりました！ありがとうございます！」や「東海地方で何かあった時には絶対助けに行きます！」等と声を掛けて頂き、「ボランティアに参加して良かった」と感じ、今後の復興を心から祈りました。今回の貴重な体験を、愛生福祉会の中で活かしていけるよう努めていきたいと思います。



鳩の丘  
藤本 国仁さん  
(ユニットリーダー)

### 義援金

ありがとうございました

ご利用者様、ご家族様、職員の皆様の善意の義援金40万8274円を中日新聞社に持参させていただきました。

円▽坂本雅雄・慶子・淳	1万円
▽梅村弘司	1万円
▽藤大典	4万3898円
▽年大 中村誠城リフレッシュ	6万7000円
▽体操クラブ	6万7000円
▽匿名 3万円▽三毛糸	3万円
▽10万円▽なみみ	4万4000円
▽000円▽会場にて	4万4000円
▽1000円▽さんや	1万1888円
▽イコンベ	4万3300円
▽8000円▽DS会法人チャリティ	4万3300円
▽愛生福祉会ご利用者様及び	4万8274円
▽職員一同	4万8274円
▽水野誠	10000円
▽イオB OPAゴルフ	10000円
▽6万4200円▽稲水町内会	10万
▽10万円▽ブレインランドキャ	3万7700円
▽ツスルグループ	3万7700円

▲新聞にも掲載されました。(2011年4月30日:中日新聞社)

### 東日本大震災 災害義援金

座談会

# 働くお母さん

愛生福祉会では「働くお母さん」の働きやすい環境を整備するため、二つの事業所内託児所を開設しています。愛生福祉会の施設で働くお母さん職員の中で事業所内託児所「ポッポ」(庄内の里第2デイサービスセンター内)と「バンビ」(愛生苑内)に子どもをあずけている方に集まっていたいただき、実際に現在の託児所についてどう思い、感じられているか、これから期待することはどんなことなのかをお聞きしました。

司会：なぜポッポ・バンビに預けようと思ったのですか？

東側さん：子供が産まれても、働こうと考えていました。職場の施設長から、愛生苑の中にも託児所ができてほしい、また愛生福祉会の託児所は安いと感じたので、バンビを利用しようと思いました。

西村さん：職場の人も利用している人がいて、託児所の魅力等もよく聞いていたので、ポッポを利用しようと思いました。

西田さん：私も、職場の人から、ポッポの事を聞いていました。保育園等に比べて、手続き等も簡単だと思ったので、ポッポを利用して頂くことになりました。

司会：利用してみて、良いところ、困ったところはありませんか？

城谷さん：同じ愛生苑の中なので、何かあってもすぐにかけることができるので、助かります。逆にばつたり会つと泣かれてしまうので、気をつけています。

東側さん：バンビは愛生苑の施設内にあるので、デイサービスのお年寄りとのふれあいもあり、人見知りがないので、良かったです。

西村さん：日頃発見できない様な成長もきちんと見ていてくれて、細かい事や写真も連絡帳に載せてくれるので、家族中で子供の様子を知らせてあげることができて、嬉しかったです。

西田さん：いつも良くしてくれるので、困っていることはほとんどありません。

司会：託児所に今後求める事はありますか？

東側さん：親が休みの日でも、託児所に預けることはできるのでしようか。

西村さん：そうですね、どうなんでしょうか。私も気になります。

西田さん：そうですね。

西村さん：親子で行う親子行事があったり、普段の託児所での過ごし方、親の参観日みたいなものがあつたらいいなと思います。

司会：働くお母さんの良いところ、大変なところはありますか？

城谷さん：私は育児休暇を終えてから、勤務時間の関係で職場異動したのですが、元々の職場で、仕事に復帰した他の職員を見て、利用者の方が「お帰り」「待ってたよ」と笑顔で声を掛けてくれる姿を見ると嬉しくて自分も仕事に戻って良かったと思います。

東側さん：私の場合は、息子と二人っきりですと居れば、参ってしまうかもしれません。仕事が終わってからは、家に帰っても家事やらやらなければいけない事も沢山あつて忙しいですが外に出て働くのは気分転換になります。お金も入ってきますしね。(笑)

西田さん：現在も社員で働かせて頂いておりますが、育児短時間勤務で働かせて頂いております。その分お金も減りますが、家に帰ってから家事もできますし、子供の成長も近くで見られます。帰って夕食の支度して寝かすまで、子供のペースに合わせてあげたいので大変ですけど。

西村さん：私の子供は夜六時半には寝てしまうので、寝るまでの間に、夕食やお風呂等やらなければいけない事がたくさんあります。でも、託児所に迎えに行った時、子供が笑顔で来る時のかわいさは倍です。さみしい思いをさせてしまう事もありますが、たくましく成長してくれるには、良いと思います。



事業内の託児所だから安心

庄内の里 介護支援センター (ケアマネージャー) 西村 由紀さん



預かる子どもが一人でも3対1でみてくれました(笑)

特別養護老人ホーム鳩の丘 (介護職) 東側 周子さん



時々こっそり様子を見ることもあります。

愛生苑デイサービスセンター (介護職) 城谷 千晴さん



子どもはやっぱり可愛いです!

庄内の里デイサービスセンター (介護職) 西田 範子さん

お母さんたちの意見を参考にし、これからは働きやすい環境づくりを進めていきます。今後も様々なご意見をお聞かせください。

## 託児所の 一日の流れ

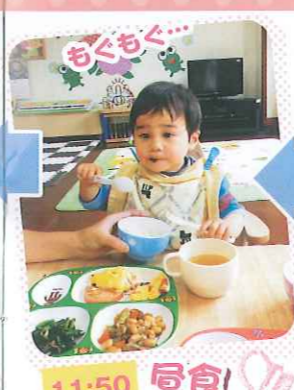
「あいさつ」のできる、心身ともに元気な子どもに育つ様、取り組んでおります。散歩や外遊びはもちろん、施設の行事に共に参加したり、時にはお年寄りとの交流もしています。法人スタッフの皆さんが、仕事と子育てが両立でき、安心して働くことができる様にサポートさせて頂いております。



みなさんおはようございます。



ポカポカのお日様 元気に外遊び。



おいしい! 流しそうめん



今日はどうなお話かな。



お帰りのさい。



ヘルパーステーションあい 小野寺 清美さん

## 2011年5月 ヘルパーステーションあい 開設!

名古屋市北区・西区・東区・中村区・清須市・北名古屋市・豊山町を中心に活動していきます。



こんにちは。5月より庄内の里と愛生苑と鳩の丘三つのヘルパーステーションが統合して「ヘルパーステーションあい」として生まれ変わりました。総勢30名のスタッフが愛のある介護をモットーに毎日訪問させて頂いております。24時間365日お困りな事があれば私たちがお手伝いさせて頂きます。もし、私たちと一緒に働いてみたいと思われた方、ぜひ!!お気軽に声を掛けてください。

ヘルパーステーションあい サービス提供責任者 澤村絹代

私たちと一緒に地域の皆様へ愛のある介護をお届けするヘルパースタッフを募集しております。詳しくは「ヘルパーステーションあい」までお気軽にお問い合わせください。

ヘルパー募集!! 1日1時間からでもOKです

社会福祉法人愛生福祉会  
ヘルパーステーションあい  
〒462-0025 名古屋市北区鳩岡町1丁目7番地20  
TEL:052(916)3760 FAX:052(916)3764  
管理者:塩崎 サービス提供責任者:澤村



# 愛生福祉社会合同作品展

今年も盛大に作品展が開催されました。各施設のアイディアに富んだ作品がずらりと展示され、来場された方々も熱心に作品を見学されていました。

日程 平成二十三年五月十二日(木)～十五日(日)  
場所 特別養護老人ホーム 鳩の丘 一階多目的ホール他

## 最優秀作品賞

はぎの  
デイサービスセンター  
「はぎのカルタ」



はぎのデイサービスらしいものを作ろうと、一言一句皆で頭を悩ませ完成した作品です。最優秀の知らせを聞いた時には皆でバンザイし大喜びしました。作品展終了後には作品でカルタ取りを楽しんでいます。

## 最優秀作品賞

グループホーム集い  
杉浦つぎ様  
「ちぎり絵」



この歳になり初めて「ちぎり絵」に出会いました。難しいこともありましたが先生に丁寧に教えて頂き作品を作りあげることができました。賞が頂けると思っていなかったのも、とても嬉しいです。

## 共同作品部門

## 個人作品部門

平成21年	平成18年～	平成17年	平成14年～	平成13年
<p>第九回 デイサービス合同 作品展示</p> <p>●各デイサービスが「浮世絵」をテーマに作品を作り、美入度を競い合いました。</p>	<p>人気の喫茶コーナーも 始まりました。</p> <p>●各施設が「浮世絵」をテーマに作品を作り、美入度を競い合いました。</p>	<p>第五回 名古屋市民ギャラリー矢田にて開催</p> <p>●特別養護老人ホーム鳩の丘多目的ホールにて開催</p> <p>●鳩の丘が開所し、多目的ホールにて四日間開催されるようになりました。</p>	<p>第二回 上飯田第一病院南館一階ロビーにて開催</p> <p>●陶芸の体験コーナー！ ●介護相談コーナー等が開催され病院を訪れた方など、多くの方々に来場して頂きました。</p>	<p>第一回 愛生福祉社会合同作品展 スタート</p> <p>●楠地区会館をお借りし始まった合同作品展。第二回は法人四施設での展示でした。</p>



第2回～会場 / 上飯田第一病院 1階ロビー



第1回作品展会場 努力賞 受賞者



第1回作品展会場 本格的なお茶会が開催されていました。

## 合同作品展十年の歴史

# 優しい学び 介護教室

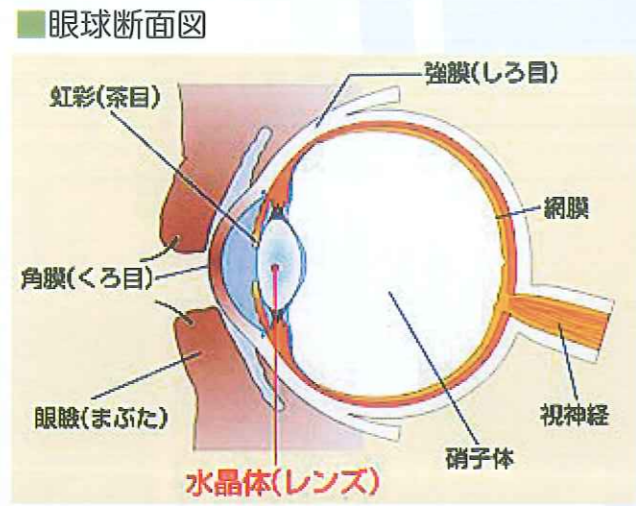
## 白内障

白内障は老化現象のひとつといわれるように、年齢を重ねるとともに増加し、九十代では90%の人が白内障になるといわれています。ところが、お年寄りの病気を考えられていた白内障が、近年ではパソコンの普及、有害紫外線などにより若年化が進む傾向にあります。今回は、白内障の中でも最も多い「老人性白内障」に焦点をあててみました。

## 白内障とは…?

水晶体が灰白色や茶褐色ににごり、物がかすんだりぼやけて見えたりようになる目の疾患のひとつです。水晶体の周辺部から、にごりはじめるので、初期には自覚症状のない場合がほとんどです。

水晶体が白くにごるのは、主として水晶体に含まれるたんぱく質が酸化されることが原因で起こると考えられます。そのほとんどがクリスタリンと呼ばれるもので、酸化されることによってその成分が変性し透明な水晶体がにごることで、ものが鮮明に見えなくなっていきます。



## 自宅でできるセルフケア

ルテインが多く含まれる食品を摂る  
ホウレンソウ、ニンジン、カボチャなどの緑黄色野菜



点眼薬  
水晶体の内部のたんぱく質の変性を抑える



帽子やサングラス  
紫外線をカットしてくれるもの



目をこすったり、ぶついたり、刺激を与えない



## 手術もできる

白内障の手術には、「水晶体超音波乳化吸引術」と「嚢外(のうがい)摘出術」の2種類があります。日帰り手術になるのは「水晶体超音波乳化吸引術」で、手術の時間も10分ほどで終わり、いろいろな面で患者さんの負担や危険性も少なく、多くの方が日帰り手術を希望しています。  
※希望をすれば誰もが日帰り手術を受けられるわけではありません。ご希望の方は最寄りの眼科へご確認ください。

## 目の体操 さあ、はじめましょう! LET'S TRY !!!

座ったまま出来る手軽な体操です。毎日ちょっとした合間に実践し、目の調整機能を改善します。

- ①人差し指を顔の前に持ってきます。指は、左右どちらでも構いません。
- ②次に、人差し指をじっと見つめます。5秒かけてゆっくりと腕を伸ばしていきます。腕が伸びた状態で人差し指を5秒間じっと見つめます。
- ③次に、人差し指を見つめたまま、5秒かけて伸ばしていた腕を縮めていきます。
- ④人差し指を最初に顔の前に持ってきた位置まで戻します。

⑤以上の1～4までの流れを5回繰り返します。※目の調整体操は、1～2回やった程度では効果は期待できません。毎日コツコツ続けていくことが大切です。是非皆さんもやってみてください。

愛生苑

思ひ出づくり  
愛生苑一泊旅行

五月三十日、三十一日でご利用者とそのご家族で飛騨高山一泊旅行に行ってきました。ご利用者の皆様は、普段施設内での生活が多く、またご家族との旅行も久しく行かれていない方がいらっしゃると思います。  
今回、この企画を通しご家族とのふれあいを増やして頂き、思い出の一つに一泊旅行が残って頂けたらと思います。



「側面にはリフトがあり、車椅子の方も楽々乗ることが出来ました。これで旅行がスムーズに進むことができとても嬉しいです。」  
職員 片岡スタッフ

ご利用者、ご家族、ボランティア、職員含め、総勢40名の旅行がここからスタートしました。



出発!!

1日目



「久しぶりの親子の旅行でした。おじいちゃんと二人で色々なところに行けてとても楽しめました。」  
小川様 ご家族より



「一日目は昭和村です。施設内には昔の建物などがあり、ご利用者は昔を懐かしんでいました。昔話も聞けて良かったです。」  
職員 門谷スタッフ



おかえりなさい!!  
到着!!



2日目



「初めて旅行に参加し、母の笑顔が多く見られ、楽しかったです。」  
藤岡様 ご家族より

集合写真



「最終日は高山、まつりの森に行きました。高山祭りなどに使う大きな山車などが展示され、ご利用者皆様その大きさにびっくりされていました。」  
職員 小出スタッフ



旅館にて



「宿泊先は高山グリーンホテルでした。部屋から見る景色が綺麗、そして料理もおいしく旅行をご利用者とともに満喫することができました。」  
職員 道村スタッフ

「お父さんと、ゆっくりご飯を食べながら昔話などで盛り上がりよい思い出が出来ました。」  
犬飼様 ご家族より

感想



職員 天野スタッフ  
今回、ご家族や色々な方のご協力を頂き楽しい思い出に残る旅行となりました。今後ご利用者が日々を楽しめる企画を考えていきたいと思います。皆様ありがとうございました。



参加ご家族より  
旅行を計画して下さい、ありがとうございました。愛生苑にて楽しく生活されており、安心しました。これからもお願いします。



良い思い出ができました!!

今度は身の回りの小物(眼鏡ケース等)にもデコレーションしていきたいです。



メモスタンドも本物そっくりのケーキに!



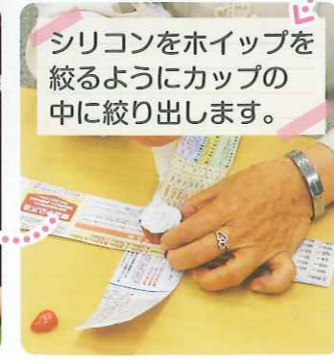
使用するものはシリコン、粘土、飾り付け用のビーズ等です。



出来上がり♡



粘土で作った苺をのせて...



シリコンをホイップを絞るようにカップの中に絞り出します。

安田荘

指先使って  
かわいい小物作り

デコクラブ

安田荘に新しいクラブ仲間入り!ホイップケーキ型のストラップ、メモスタンドをみんなで作ってわいわい作りました。

五月にデイサービスセンター「はぎの」筒井、はぎのデイサービスセンターの皆さんが訪問し、第三回目となる風船バレー大会が開催されました。実は過去二回戦は共に筒井チームが勝利を収めていますが、この日の為に練習を重ねてきました。  
今回は各施設チームを作り、全九チームのトーナメント制で試合を行いました。どのチームも声を出し合い楽しく試合に臨まれていました。もちろん応援も盛り上がりました。  
結果はなんと今回も筒井チームの優勝!はぎのからも第二位に食い込んだチームもあり、皆さん頑張りました!

- はぎの デイサービスセンター
- 筒井 デイサービスセンター

挑戦する心  
風船バレー交流会



負けないぞ!!



祝 優勝チームの皆さんです!おめでとうございます!



今日こそは勝つぞ!



挑戦状

# 看護学会でポスター発表

「愛生苑における看取りの事例」

「最後まで自己決定を尊重した支援」

愛生福祉会では看取り緩和ケア委員会主催で、各施設での看取りケアの取り組み事例の発表会を行うことで、知識と経験を共有化し、ケアの質の向上を目指してきました。

昨年度の発表会の際、相山女子学園大学老年看護学科講師 田中結花子先生から、「ぜひ高齢者施設での現場の生の声を聞かせて欲しい」との申し出があり、ご参加いただきました。これをきっかけに当法人の施設での看取りケアの取り組みを評価していただき、田中先生を筆頭とする相山女子学園大学看護学部の方々に愛生苑の松本文恵看護主任が協力させていただき、形での事例をまとめ、国際看護学会と全国老年看護学会にポスターを作成し、提出。その結果審査が通り、両学会でポスター発表の運びとなりました。「特別養護老人ホームにおける九十三歳の看取りの事例」最期まで自己決定を尊重した支援」というタイトルでポスター発表に参加した松本文恵看護主任は「私たちが毎日当たり前にこなしていることがこのような形で形になり、評価していただくことができ、現場職員は嬉しく思っています。」と語っていました。



学会の会場のポスターの前で  
(向かって右端:田中結花子先生  
左から2番目:松本文恵看護主任)

## 事例の概要

H様 九十三歳、男性。入所された当初は娘は病院での最後を希望されていた。肺炎で入院を繰り返されるようになり、病院より医療的延命(胃瘻・IVHなど)を望まれるのか、看取りを選択されるのか問われたと娘様から施設に相談があった。H様は認知症があり、ご本人の意思決定は困難な状態だったが、愛生苑の職員もご家族に寄り添い、どこまでもH様の気持ちを考え、最終的にご家族が施設での看取りを選択された。退院後は四階の多床室から二階の看取りの部屋(個室)に移っていただいたが、日常のケアには馴染みの四階のスタッフが入れられるように工夫した。病院では食事が食べられなかったが、施設へ戻り、永眠される最終まで口から食べることができ、ご家族に「施設に帰ってきてよかった」と言っていた。

## 接遇 研修

# 相手の心を温める

「介護・福祉現場の接遇マナーとは」

去る6月8日、外部講師の濱島しのぶ氏をお招きして接遇マナーの研修を行いました。介護職をはじめ、看護師、ケアマネージャーや事務員など総勢65名が参加し介護現場での接遇のあり方と、接客と接遇の違いを学びました。

「どんな研修が始まるのか」と少し緊張気味だった職員の様子を読み取られたのか、研修は頭の体操から始まりました。つぎに「同じグループの人と手を取り言葉と目を交わす」というお題が出され、どこか受け身でいた職員もいつの間にか身を乗り出し、気が付いたら濱島氏の世界に引き込まれていました。そのような演習が繰り返され、お互いの心の距離が近づいたことを肌で感じたところで、研修の本題に入っていきます。介護の現場でも同じことがいえるのですが、「コミュニケーションを重ねながら、利用者様や家族様との親密度や信頼度を徐々に増していくことはとても大切なことです。今回はそのことを、頭の中のイメージだけでなく、数々の演習を通して確認をすることが出来ました。」



そして、接遇の5原則である「あいさつ」「身だしなみ」「表情」「態度」「ことばづかい」については「今、この場で出来なければ明日はできない。明日出来なければ、現場では決まってしまう」との理由から、全員ができるようになるまで何度も行いました。それは、穏やかな笑顔とユーモアあふれた口調の裏にある、接遇マナーのプロとしての厳しい一面を感じた瞬間でした。今回はCA時代の話や特養での体験談をふんだんに織り交ぜながらの内容であったため、最後まで参加者の集中が途切れることのない研修でした。



また、接客はすべての人に対して「マニュアル通りの画一的なサービスを行う、いわば『既製品』」であるのに対し、接遇はおもてなしの気持ちで、あり、いかに相手を大切に、個々の心に寄り添うことができるのかを追及する、つまり「オーダーメイド」であることを教えて頂きました。



濱島しのぶ氏

経歴  
株式会社のコア・ポリューション代表取締役  
元ANA客室乗務員、フライトトレーナーとして新人の教育訓練を担当。同時にサービス接遇委員会のプロジェクトメンバーとして活躍される。退職後しばらくして特別養護老人ホームに入職。現場で介護主任兼教育担当として接遇をはじめ職員の全般的な教育に携わる。

# ふれあい 随想リレー

其の5

今回は、横浜田谷の里で生活相談員として活躍する梅田正貴さんです。名古屋の施設での経験を経て、平成二十二年田谷の里の開所と同時に横浜に異動となりました。ご利用者様からは、なんでも話を聞いてくれる優しい相談員と評判の梅田さんです。



田谷の里 梅田正貴

平成十三年四月一日、福祉の専門学校を卒業し、庄内の里に介護職員として入社しました。一年半特養で介護職員として先輩方の指導を頂きながら、必死で業務を覚え動めてきました。その後、四年半訪問入浴のサービス担当責任者として、ご自宅に訪問し、入浴サービスを提供してきました。その中で、ご本人様の思いやご家族様の思いを身近で感じることができました。サービス終了後に「気持ち良かった。さっぱりした。」の一言を聞くことが嬉しくなりました。又、施設介護と在宅介護の違いを感じました。それは、担当になって初めて、伺ったご自宅でご家族様より介護の相談を受け、今置かれていた状況を実際に知ることができました。その後、二年間訪問介護のサービス提供責任者として、身体介護、生活援助を提供してきました。事前の情報を把握し、いざ初めて一人でご自宅に伺った際、そのご自宅にある物品等で介護を行い、冷蔵庫の中にある食材等で料理する為、訪問介護の難しさを実感しました。ご利用者様との信頼関係が築けると次第に、その方にとって今必要としていることは何なのかを考えるようになりました。又、ご家族様の介護負担についても同じように考え、サービス提供に係わる職員で検討し、より良いサービスを提供できるように努めてきました。平成二十一年五月一日、県外で法人初施設となる特養田谷の里の生活相談員として転勤となり、今まで経験した施設介護、在宅介護での多くの知識や技術を活用しながら、二〇名のお年寄りやご家族様、職員達と一緒に充実した日々を送っております。

春になれば、ご利用者様の方々と施設の裏山へ苜蓿を採りに行き新苜蓿を味わって頂いたり、近くの公園にてお花見を行い、「外で食べるご飯はいいね。」と言ってくださった表情がとても印象に残っております。又、夏には、湘南の海岸へドライブに行ったりもしております。季節を通して行事(レクリエーション)を行うことで横浜の田谷の里ならではの生活支援が出来ればと思っております。



# 愛生福祉会 トピックス

様々な事業や活動を行っている愛生福祉会の最新情報をご紹介します。



## 愛生福祉会 これからの予定

- 七月 夏祭り 二十三日(愛生苑) 三十日(庄内の里)
- 八月 夏祭り 六日(鳩の丘) 二十日(安田荘)
- 九月 ヘルパー二級介護員養成講座 (九月～十二月)
- 敬老会
- 十月 運動会

ヘルパー二級介護員養成講座  
お問合わせ先  
TEL:0120-03-1165

## 庄内の里 新事務長あいさつ



本間正行 事務長を  
務めたいと  
思います。

四月より庄内の里の事務長に就任させて頂きました。不慣れではありますが、今までの事務の経験を生かし、一方で新たな気持ちをもって業務に取り組んで参りたいと思います。

法人の理念にあります「愛」誠実「謙虚」「感謝」の気持ちを念頭に「ご利用者様、御家族様及び地域の皆様」に信頼される事務長を目指したいと思います。

## 愛生福祉会 新入事務局員



阿山浩子 指導のほど  
よろしくお願い  
します。

五月に入社致しました、阿山浩子と申します。初めてのことで慣れないことも多く、何かとご迷惑をお掛けするかとありますが、一杯努力し最善をつくす所存でございます。今後とも、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

## 優勝の丘 ソフトボール大会

第10回法人ソフトボール大会お疲れ様でした。鳩の丘もつい前人未到の3連覇を成し遂げ、とても嬉しいです。皆さんの応援がとても選手力になりました。ありがとうございました。次は、4連覇目指して頑張ります。



監督 平野晃司

# 人財「開発プロジェクト活動中

## 母校訪問

爽やかな風吹く初夏、新卒採用者の母校への同行訪問を行いました。これは、人財開発プロジェクトが今年新たに行っている取り組みです。卒業生と担当者が共に学校訪問し、お話しをする機会を頂くことで、愛生福祉会についてより深く理解して頂くことを目的としております。また、新卒者が自分の原点である母校へ足を運ぶことで、福祉の世界に飛び込んだ初心を改めて感じてほしいとの気持ちも込められています。母校訪問では、自分の現状や福祉の仕事の実際、目指してきたいことを先生と語り、気持ちもリフレッシュ。最初は緊張していましたが、後半には笑顔もこぼれとても有意義な時間を過ごすことができました。



入社してから3ヶ月経ち、学生時代とは違い、社会人としての責任や厳しさなどを感じています。今回、学校訪問をさせて頂き、お年寄りに笑顔で毎日を送らせていただきたいという学生生活の中で感じた気持ちを改めて思い出すと共に、笑顔と思いやりの気持ちを忘れず、これからも働いていきたいと思えました。



▲市川美貴先生(左)と一緒に

愛知淑徳大学 医療福祉学部卒  
野村知世(庄内の里)

## 職員の声 Voice

鳩の丘に入職して三ヶ月が経ちました。思えば去年の今頃、就職フェアで愛生福祉会を知り、七月の説明会で初めて鳩の丘に訪れました。案内して頂いた際に、職員の方々の働く姿を見てとても遠い存在に思えたのを覚えています。研修を終え、四月から実際にユニットに入って働き始めましたが、始めの一ヶ月は仕事を覚えるのに必死で全く余裕がありませんでした。この三ヶ月、本当にいろいろな経験をし、先輩方や入居者様の笑顔に支えられながら、少しずつではありますが日々前進できているように感じます。しかしまだまだ半人前の身ですので、これからも多くのことを学び、一日でも早く一人前の職員になれるよう努力していきたくと思います。



しらいあさと  
白井安里(鳩の丘)

学生時代より何か人の役に立ちたいと考え、気付けば福祉の世界に飛び込み、早いものでもう五年になります。現場では、食事介助・排泄介助など、毎日が目まぐるしく過ぎていきます。介護動作時や、コミュニケーションをする時の基本は「笑顔」。そう教えられ、実践しています。さすがに同じ会話が十回目あたりにもなると笑顔になりすぎて顔の筋肉がひきつたりします(笑)。でもこの表情筋を使っただけ、利用者様の役に立てているのではないかと思えるのです。笑顔でお話しさせていただく時、利用者様も笑顔になり、笑いは万物の特効薬と言言葉思い出します。春になると満開になる五条川の桜のように、一人でも多くの利用者様に笑顔を咲かせたい。それが僕の目標でもあります。



さかのこうたろう  
坂野 弘太郎(御桜乃里)

### ふれあい夏号 編集後記

以前自分も保育園に子どもを預けて働く中、今回のような座談会を行って記事にした事があります。その時あがった「事業所内に託児所があったらもっと働きやすくなるのに」の声が年月を経て現実のものとなりました。今回の「声」も大切に次につなげられるよう支えていきたくと思います。 鳩の丘 北村 瑞穂

社会福祉法人  
**愛生福祉会**  
法人事務局

〒462-0025  
名古屋市北区鳩岡町一丁目7番地20  
TEL 052-916-3759  
FAX 052-916-3756  
http://www.aiseifukusikai.jp

### 安田荘

●軽費老人ホーム  
〒466-0857 名古屋市昭和区安田通二丁目4番地の2  
TEL (052)762-1638 FAX (052)752-7292  
(名古屋市指定管理者制度受託)

### 愛生苑

●特別養護老人ホーム(指定介護老人福祉施設)  
〒462-0011 名古屋市北区五反田町108-2  
TEL (052)901-7621 FAX (052)901-7911

### はきのデイサービスセンター

●デイサービスセンター  
〒462-0026 名古屋市北区萩野通一丁目26番の1  
TEL (052)916-5758 FAX (052)916-5512

### 庄内の里

●特別養護老人ホーム(指定介護老人福祉施設)  
〒452-0822 名古屋市西区中小田井二丁目98番地  
TEL (052)505-1165 FAX (052)505-1161

### デイサービス筒井センター

●デイサービスセンター  
〒461-0003 名古屋市東区筒井一丁目2番1-1号  
TEL (052)938-0065 FAX (052)938-0070

### 鳩の丘

●特別養護老人ホーム(指定介護老人福祉施設)  
〒462-0025 名古屋市北区鳩岡町一丁目7番地20  
TEL (052)916-3755 FAX (052)916-3756

### 庄内の里 第2デイサービスセンター

●デイサービスセンター  
〒452-0822 名古屋市西区中小田井三丁目389番地  
TEL (052)504-3301 FAX (052)504-3302

### 御桜乃里

●特別養護老人ホーム(指定介護老人福祉施設)  
〒480-0144 愛知県丹羽郡大口町下小口六丁目124-2  
TEL (0587)95-8151 FAX (0587)95-8680

### グループホーム 小田井

●グループホーム  
〒452-0822 名古屋市西区中小田井五丁目240番地  
TEL (052)509-7717 FAX (052)509-7727

### 田谷の里

●特別養護老人ホーム(指定介護老人福祉施設)  
〒244-0844 神奈川県横浜市栄区田谷町1364番地2  
TEL (045)852-0012 FAX (045)827-3866

### グループホーム デイサービスセンター 集い

●グループホーム・デイサービスセンター  
〒463-0078 名古屋市守山区瀬古三丁目830番地  
TEL (052)793-7004 FAX (052)793-7014